

健康日本 2 1 清須計画（第 2 次）の中間評価及び清須市自殺対策計画策定に関する 実務者会議報告

1. 日 時 平成 3 0 年 9 月 2 1 日（金）午後 3 時～ 5 時
2. 参加者 庁内 2 2 課^{※1}および社会福祉協議会^{※2} 実務者 3 2 人

- ※1 人事秘書課、企画政策課、防災行政課、財政課、税務課、収納課、市民課、保険年金課、生活環境課、産業課、社会福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、土木課、都市計画課、上下水道課、議事調査課、学校教育課、生涯学習課、学校給食センター管理事務所、監査課、健康推進課
- ※2 総務地域課地域福祉係、地域包括支援センター、障がい者サポート支援センター清須

3. 健康日本 2 1 清須計画（第 2 次）中間評価について

- (1) 目的 健康日本 2 1 清須計画（第 2 次）中間評価を実施し、更なる推進を図る。
- (2) 内容 次の①、②について更新。
 - ① 清須市の健康づくりに関するとりくみ（次ページ参照）
 - ② 健康日本 2 1 清須計画（第 2 次）の体系（資料 3 - 2）

4. 清須市自殺対策計画策定について

- (1) 目的 市民のいのちを守る「清須市自殺対策計画」の策定および推進にあたり、全庁的なとりくみが必要なため、関係者間で、認識を共有、地域の社会資源や関連事業・既存の事業を把握し、連携を図る。

(2) 内容

① 自殺対策の概要

「自殺対策計画と清須市の現状」について、自殺対策は特別な政策ではなく、今行っている施策に自殺の視点を反映させることで、救われる人がいるかもしれないこと、生きる支援のとりくみが全庁的に必要であることについて説明。

② 各課のとりくみを考える

各課の「こころの健康」に関するとりくみ、自殺対策として所属機関または個人でできること、自殺対策の概要の感想などについてグループワークを実施。

【今後のとりくみ等、意見】

- ・ 気づき、見守り、つなげていくことが大切である。
- ・ 普段と様子が違うこと、サインに早い段階で気づく（言葉数、表情等）。
- ・ 困っている人は相談窓口を知らないの、情報発信が大切である。
- ・ 職員がゲートキーパー講座を受講する。
- ・ こころの相談窓口やその他相談できる案内のチラシを担当課以外の窓口に設置する。
- ・ 住民の方へ事業（自殺対策計画、相談窓口、交流の場等）の見える化およびその強化を行う。
- ・ 自殺の背景には様々な問題を抱えている人が多いので、担当課だけで抱え込まず、関係各課で連携して取り組みたい。また、丁寧な対応を心がけていく。
- ・ まずは自分が心身ともに健康でいること、自分を大事にすること。など

【総評】（清須保健所 こころの健康推進グループ）

- ・ 相談機関を利用しても自殺に至ることがある。自殺の背景は複合的であり、原因はひとつではない。ひとつ解決してもまだ解決していない問題があるので、相談を受ける担当課はひとつに決まらない。
- ・ 丁寧な対応が必要で、“行ってください”ではなく、先方に連絡を入れる、一緒に行くなどが本来の“つなげる”という意味である。
- ・ 各グループとも、前向きな意見が沢山でていたので自殺対策計画に反映できそうである。

